

アントレプレナーシッププロジェクト第一弾！ 「生徒主体によるクリスマス マーケット」開催

問 行政経営課 (☎82・3632 / IP ☎88・9084)

市では昨年8月、子どもたちのアントレプレナーシップの育成を目的に、2回目となるエストニアへの短期留学を実施しました。

そこで学んだ経験を生かし、地域を活性化させるための試験的取り組みとして、留学参加した中学生10人を中心に、市内の小中学生や短期留学に参加した榛原西小学校教員のクラス児童(6年生)によるクリスマススマーケットを12月14日(土) 榛原駅前で開催しました。

出店者への声掛けや商品づくり、広報、当日の運営に至るまで生徒たちが主体となり、1から準備を進めました。

当日は、多くの方々が登場され、同じく取り組みに呼応した室生中学校吹奏楽部のパフォーマンスで会場は大きくにぎわいました。販売した商品は全て完売。

この経験を通じて、生徒たちは自ら考え、行動し、協力し合うことの大切さを学びました。



まちづくり活動応援補助金 審査委員募集

問 政策推進課 (☎82・3910 / IP ☎88・9094)

市では、地域の活性化に取り組む市民の皆さんの活動を支援するため「宇陀市まちづくり活動応援補助金」制度を設けています。

この制度では、応募があった提案を審査会でプレゼンし、採択事業を決定します。その事業を審査していただく、審査会の委員を募集します。

審査会や事業報告会では、各事業に対する意見やアドバイスを発行していただき、地域活動の活性化や充実に貢献していただきます。

宇陀市のまちづくりを支援していただける方の応募をお待ちしています。

【申込資格】
次の要件の全てに該当する方
①地域づくり活動に関心があり、事業の評価に公平・公正な判断ができる方
②市内在住の満18歳以上の方(令和7年2月1日現在)
③宇陀市まちづくり活動応援補助金に応募する予定の団体に所属していない方

【募集人数】 若干名

【任期】 選任の日から令和9年3月31日まで

【業務内容】 宇陀市まちづくり活動応援補助金への応募事業の審査・評価



えなごさん達に「宇陀市地域創生大使」を委嘱

問 商工業課 (☎82・5874 / IP ☎88・9075)

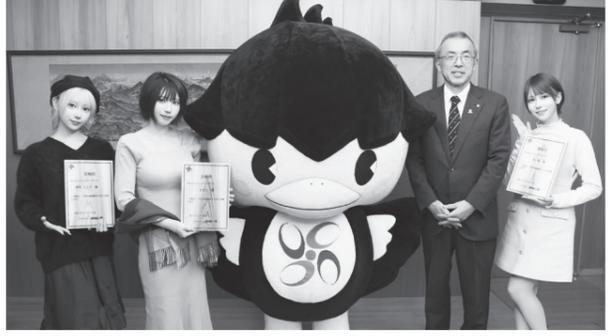
11月19日、人気コスプレイヤー「えなご」さん、「篠崎こころ」さん、「えい梨」さんの3人に「宇陀市地域創生大使」を委嘱しました。

市は全国6自治体とともに、一般社団法人公民連携推進機構(東京都港区)と株式会社PPエンタープライズ(東京都世田谷区)が実施する「コスプレイヤーが日本を元気にする『プロジェクト』」に参加しており、その事業の一環である「デジタル住民NFTアンバサダーカード(※)」の作成のため、えなごさん達3人の人気コスプレイヤーが来訪され、「宇陀市地域創生大使」を委嘱することになりました。

えなごさん達には、「宇陀市地域創生大使」として、宇陀市の知名度向上や魅力向上などの取り組みについてご協力をいただく予定です。

11月20日には、奈良カエデの郷ひららにて、3人にカエデの記念植樹をしていただき、市の大使として活動いただきました。

今後、えなごさん達との連携事業については、広報うだや市ホームページ、市公式SNSなどでお知らせします。



▲「デジタル住民NFTアンバサダーカード」の詳細については上記のQRコードをご確認ください。

手話への扉

第55回

立春とはいえまだまだ寒さが続く2月。
冬ならではのスポーツも楽しみたいですね。

<p>立春</p> <p>左手のひらに、右手人差し指と中指を立てる【立つ】</p>	<p>寒い</p> <p>両腕と身体を縮ませ、両手拳を上に向けて左右に震わせる</p>
<p>雪</p> <p>口の開き、歯を指さした右手人差し指の指先を左方に振り【白】</p>	<p>スキー</p> <p>両手の2指の輪をひらひらさせながら上から下へ下ろす</p>
<p>スノーボード</p> <p>手のひらを上に向け、揃えて置いた両手人差し指を平行に出す</p>	<p>スノーボード</p> <p>両手を前後にずらしてつけ、左方に急旋回させる</p>

特集

市政TOPICS

うだごから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・あんしん

お知らせ

掲示板

うだちゃん

宇陀市総合計画審議会の公募委員を募集

企画課 (☎ 82・1362 / IP ☎ 88・9074 / FAX 82・3600 / E-mail kikaku@city.uda.lg.jp)

市では、「第2次宇陀市総合計画後期基本計画（計画期間：令和8年度から令和11年度）」の策定準備を進めています。この計画は市の最上位計画にあたり、策定に際しては市民の皆さんと協力し、共に同じ目標に向かって今後のまちづくりを進めていきたいと考えています。

そこで、この計画が市民の皆さんと共有できる身近な計画となるよう、計画策定に参加していただける、公募委員を募集します。

【募集期間】 2月12日(水)～28日(金)
 ※郵送の場合は2月28日必着。FAXまたは電子メールの場合は、期間中の送信記録を確認できたものを有効とします。

【募集人数】 若干名

◆審議会の概要

【総合計画審議会とは】

宇陀市総合計画の策定について広く意見を求めるため、条例に基づき設置する機関で、市長の諮問に応じ、計画案や計画の進行管理について調査審議を行います。

【委員の構成】

今回公募する委員のほか、各種団体を代表する方および学識経験者等に

より構成されます。（委員定数20人以上）

【委員の任期】

委嘱の日から令和11年3月31日まで

【報酬】

会議に出席の都度、市が定める報酬（日額6800円※会議が半日で終了する場合は、3400円）をお支払します。ただし、所得税を源泉徴収します。

【その他】

会議は原則として平日の日に開催します。

◆応募方法

【応募資格】

次のいずれにも該当する方

- ① 2月1日現在で、宇陀市に在住または通勤している満18歳以上の方
- ② 市以外の審議会等の委員でない方
- ③ 市の議会議員および常勤の職員でない方

【提出書類】

次の書類を郵送、FAX、電子メール、直接持参により提出してください。

- ① 宇陀市総合計画審議会公募委員応募申込書
- ※市ホームページからダウンロード、

※市ホームページからダウンロード、

企画課および各地域事務所窓口

- ② 小論文（800字以上1000字以内）

テーマ「宇陀市の強みや弱み、市のポテンシャル（将来の可能性）についてあなたの考え、また、それを踏まえて取り組みたいことについて」

【選考について】

応募申込書・小論文による書類選考を行います。なお、選考結果については採用、不採用にかかわらず全員に書面での通知します。（3月中旬を予定）

※個別具体的な選考内容をお答えすることはできませんので、「ご了承ください」として承知ください。



農地利用最適化推進委員が委嘱されました (第18地区)

農業委員会

(☎ 82・5781 / IP ☎ 88・9060)

1月10日の農業委員会総会にて、新しい農地利用最適化推進委員（第18地区）が委嘱されました。農地利用最適化推進委員は、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の地域における現場活動を行います。

【任期】 委嘱日から令和9年10月27日まで

担当地区	第18地区	
氏名	東 純二（敬称略）	
住所	榛原萩原	

宇陀の未来を担う子どもたちへ寄附

問 商工業課

(☎ 82・5874 / IP ☎ 88・9075)

県内で介護や保育、障害者施設などの福祉サービス事業を展開している、とらい・あんぐるグループ代表の田中 英俊さんより個人として500万円の寄附をいただきました。

田中さんは宇陀市で生まれ25年間を過ごし、平成14年に桜井市で介護サービス事業をスタートされました。現在は、市内でも保育園や児童発達支援・放課後等デイサービスを運営されており、

そのような関わりから「ふるさと宇陀市への恩返しと感謝の気持ち」としてご寄附をいただきました。



広報うだがスマホでいつでも見られる



マチを好きになるアプリ



さんとぴあ榛原からのお知らせ

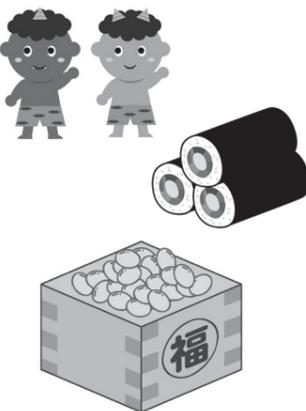
問 さんとぴあ榛原

(☎ 85・2525 / IP ☎ 88・9065)

寒さ厳しい2月、節分の時期でもあります。節分とは季節が変わる日の事を意味し、冬から春に変わる日を迎える行事です。古来より、季節の変わり目には悪いものが家に入りやすいとされており、悪いものを退治し「魔（ま）を滅（めつ）する」の語呂合わせから「まめ」をまくようになったそうです。節分に用いる豆は「福豆」とも呼ばれ、縁起の良いものとされています。

節分と言えば恵方巻を思い浮かべる方も多いでしょう。恵方巻とは、縁起をかついで節分に食べられるようになった太い巻き寿司のことです。一説には、昭和50年代に関西地方を中心に広まった風習と言われています。今年の恵方は「西南西」。古代中国の陰陽五行説に基づいて決定されます。

節分は春を迎えるとは言っても2月は市内は最も冷える時期。体調管理が難しく不安になります。さんとぴあ榛原は、病状が安定し



当施設へ入所されますと、在宅復帰を目指し、理学療法士や作業療法士による本格的なリハビリが受けられます。現在は、多床室（大部屋）個室とも空きがあります。まずは気軽にお問い合わせください。